美しい山・川・海
人が躍動する　交流と共生のまち

ふるさと香美

今月号の主な内容



【写真】夜空に咲く大輪の花　香住ふるさとまつり海上花火大会

8
香美町広報
平成17年8月号
（第5号）

新町の飛躍を誓って
香美町誕生記念式典を挙行



新しく決定した町章の除幕を行う（左から）中村将志くん、松岡泰子町章選定委員会副委員長、橘秀夫町議会議長、藤原久嗣町長、北村共裕くん、岡田歩さん

7月17日、香住区中央公民館で「香美町誕生記念式典」を執り行いました。

式典では、町長の式辞や来賓の祝辞のほか、先日決定した町章の披露と入賞者への表彰、合併功労者への表彰・感謝状の贈呈、子どもたちによる「新町への期待」の朗読などが行われました。

新町の発展を目指し 決意も新たに

式典には、香美町内の各種団体関係者や、旧町時代の行政、各種団体の関係者、約500人が出席。

式典は、小代小学校の児童たちが育てたきれいなプランターに彩られた舞台で、村岡コーラスによる合唱から開幕しました。

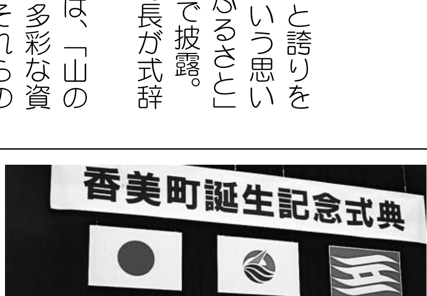

式辞を述べる藤原町長

新しい町への希望と誇りを持ってもらいたいという思いから「ビリーブ」「ふるさと」の2曲を美しい歌声で披露。

続いて藤原久嗣町長が式辞を述べました。

その中で藤原町長は、「山のまちと海のまちとの多彩な資源を最大限生かし、それらの連携による特色あるまちづくりを進めていかなければなりません。23,000人の町民が知恵を出し合い、力を合わせてまちづくりを進めていくならば、必ずやほかのまちにはない香美町ならではのキラリと光るまちづくりができるものと確信しています」と述べました。

3町合併に 貢献された方々へ 感謝状を贈呈



式典の席上、3町の合併に貢献した方々に対して、総務大臣表彰、兵庫県知事感謝状、香美町長感謝状が贈呈されました。

表彰、感謝状を受けた方々は次のとおりです。

※カッコ内の役職は合併前のものです。

（順不同、敬称略）



獅子舞が新町誕生を祝う



町章デザイン者の神田さんを表彰



村岡コーラスの美しい歌声で開幕

香美町発展のシンボル 町章を披露

式典の中では、7月に決定した町章の披露を行いました。

披露に先立ち、新町誕生のプロローグと題して、新しい町の紹介と町章選定に関するビデオを上映し、その後、ステージ上で町章の除幕を行いました。

全国から1、277点の応募をいただき、その中で、最優秀賞に選ばれた町章をデザインした神田清明さん（香住区無南垣）に賞状と賞金を贈呈しました。

表彰の後、神田さんは、「昔から絵を描くことが好きで、今でもそれを仕事にしています。自分の好きな分野で香美町の誕生に貢献できたことを大変光栄に思います」と喜びを語りました。

その後、3町の合併に尽力した方々に対する表彰・感謝状が贈られました。（受賞者は下のとおり）

式典の最後は、香住区の若松区獅子舞保存会の皆さんによるアトラクションで香美町の誕生を祝いました。

すばらしいまちに… 子どもたちの願い

式典の後半では、「新しい町への期待」と題して、町内の3人の小中学生が作文を朗読しました。

中村将志くん（香住小6年）は、「これまでと同じように小さな声や子どもたちの意見がえらい人たちに届きますように。小さい子どももお年寄りも、差別のない楽しく笑って暮らせる町に、だれとでも仲良くできる町になればいいと思います」

岡田歩さん（村岡中3年）は、「香美町をさらにすばらしい町にしていくためには福祉を充実させていくことが必要だと思います。交流の場を広げたり、人と人との心のきずなを強めたりしながら、全ての人に優しい『バリアフリーの町』ができればいいと思います」

北村共裕くん（小代中3年）は、「豊かな自然を守り、だれもが安心して暮らせて、高齢者が住みやすい町にしてほしい。みんなが夢を持てる町にするためにはみんなの協力が必要です。みんなで力を合わせて香美町を誇りの持てる町にしていきましょう」

と、それぞれ新町への期待を力強く述べ、会場から大きな拍手を受けていました。

「新しい町への期待」



中村将志くん（香住小6年）



岡田　歩さん（村岡中3年）



北村共裕くん（小代中3年）

■合併功労者総務大臣表彰

藤原　久嗣（香住町長）
岩槻　健（村岡町長）
上田　節郎（美方町長）
上田　孝（香住町議会議長）
谷渕　栄一（村岡町議会議長）
吉田　範明（美方町議会議長）

■兵庫県知事感謝状

岩槻　健（村岡町長）
上田　節郎（美方町長）

■合併功労者
香美町長感謝状

【3町合併協議会委員】

（香住町）
上田　孝、橘　秀夫、
伊藤　誠、岡田　久子、
柴崎　一秀、中村　暁、
村瀬　晴好

（村岡町）
谷渕　栄一、板坂　公二、
石垣　健三、井上　源一、
小谷　道子、西尾　高雄、
三好　忠男

（美方町）
吉田　範明、本城　繁信、
朝倉　富征、井上　一郎、
毛戸　公彦、中村　治泰、
水間　徳子、井上　秀幸、
木村　吉弘

大阪府門真市と姉妹都市提携を宣言

都市と農山漁村の交流、連携に期待

旧村岡町と姉妹都市提携をしていた大阪府門真市と香美町とが、引き続き姉妹都市提携を結ぶことになりました。

7月30日には、門真市で姉妹都市提携の宣言式が行われ、新しく香美町と門真市との姉妹都市提携が成立しました。



姉妹都市提携宣言書に署名する藤原久嗣香美町長と園部一成門真市長

今まで以上に交流を…
新たに宣言式

旧村岡町と門真市とは、昭和50年3月に姉妹都市提携を調印し、以来約30年にわたって交流を行ってきました。（主な歩みは、下の年表を参照）

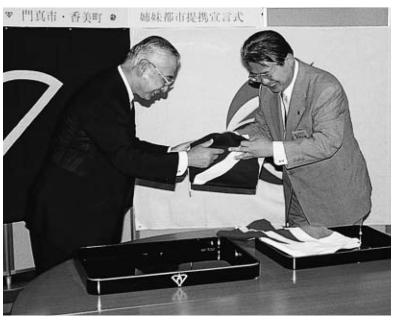
4月に香美町が誕生したため、いったん門真市との姉妹都市提携は消滅しましたが、香美町、門真市ともに「従前のように姉妹都市提携を継続したい」と提携の継続を検討していました。

門真市は3月の、香美町は6月の議会にそれぞれ姉妹都市提携の提案を行い承認されたため、改めて姉妹都市提携をすることになりました。

姉妹都市提携の宣言式は、7月30日、門真市立市民交流会館「中塚荘」で行われました。

式の中で、藤原久嗣香美町長と園部一成門真市長が「村岡町と門真市との30年の歴史を大切にして、これからも引き続き交流を深めていきたい」とあいさつ。

両市町議会議長・副議長、市町幹部が見守る中、宣言書に両市町長が署名し、新しく姉妹都市提携が成立しました。



友好の印に市旗、町旗を交換

門真市との姉妹都市交流の歩み

■昭和50年3月
村岡町と門真市が姉妹都市提携を調印

■昭和55年
村岡町で門真市の特産「クワイ」を試験栽培

■昭和56年12月
村岡町（現村岡区）和池に門真市村岡自然ふる里村「ロッジかどま」建設

■平成4年
ふるさと村岡の会が門真市の各小学校に雪をプレゼント、以降毎年実施
村岡町がロッジかどまに隣接して農林漁業体験

門真まつりで交流

宣言式が行われた7月30日は、門真市で「第33回ふる里門真まつり」が行われていました。



パレードに参加して香美町をアピール

この祭りのオープニングを飾る市内パレードに香美町も参加。約800メートルのコースを練り歩きながら、新しい姉妹都市、香美町をアピールしました。

沿道では、門真市民の皆さんが、香美町の行進に声援を贈られ、子どもたちには、カニや牛の着ぐるみが大人気でした。

メイン会場の門真市立第六中学校で行われたオープニングセレモニーでは、藤原町長があいさつ。

「村岡町時代からお世話になっていましたが、新しいまち香美町は、山や川に加えて、新しく海もまちの重要な資源になりました。豊かな自然を有する香美町にぜひお越しください」と述べました。

ステージイベントのトップバッターとして村岡区相岡の相岡芸能保存会の皆さんが芸踊りを披露。皆さんの熱演に大きな拍手が贈られていました。

また、会場には香美町から特産品を販売するテントを出店。但馬牛の焼き肉やアマゴの塩焼き、農産物だけでなく、香住区から海産物も販売し、山・川・海の特産品を門真市の皆さんに提供しました。



相岡芸能保存会の芸踊り



香美町からの出店ブース

交流館「都市と農村交流センター」建設

■平成6年
ロッジかどまを北欧風の宿泊施設に改築

■平成12年7月
「第28回ふるさと門真まつり」に村岡町川会長楽太鼓、子供芸踊りが出演。以降同祭りに村岡町内の団体が出演

■平成16年10月
但馬高原植物園に隣接する山林に「村岡・門真交流の森」完成

■平成17年7月
香美町、門真市姉妹都市提携宣言式



門真市紹介

門真市は大阪府の北東部にあり、大阪市、大東市、四条畷市、寝屋川市、守口市と接しています。

市域は東西約5キロメートル、南北約4.5キロメートルで面積は12.28平方キロメートル。

その昔「門真の荘」と呼ばれ、明治維新まで徳川氏の配下にありました。

昭和38年に市制を施行、現在の門真市となりました。昭和40年の国勢調査では人口増加率全国第1位を記録。以降、人口増加は微増し、現在は約13万人。

昭和8（1933）年、松下電気器具製作所を誘致。世界的な大企業に躍進するとともに、関連工場も増加。松下グループのお膝元としても知られています。

もともとは穀倉地帯で河内蓮根が特産物でしたが、宅地造成により、農村地帯から産業都市へと移行、現在は東大阪工業地帯の重要な位置を占めています。
北部を京阪電車が走り、南部には地下鉄長堀鶴見緑地線が、西部には大阪モノレールが通り、幹線道路として、中央部を東西に国道163号が、西部を南北に府道大阪中央環状線や近畿自動車道が縦断しています。

香美町のほかに、アイントホーフェン市（オランダ）とサン・ジョゼ・ドス・カンポス市（ブラジル）と姉妹都市提携を行っています。

香美町のまちづくりの方向づけを検討する委員会が始動

香美町は「美しい山・川・海　人が躍動する　交流と共生のまち」を目標にまちづくりを進めていくこととしています。
その目標を達成するためには、香美町が現在直面する諸問題や将来の方向づけについて十分検討していくことが必要です。
そのため、住民代表による委員会を立ち上げ、まちの将来の方向づけについて検討していくことにしました。

【地域協議会】

各区の振興は　各区の人たちの手で

香美町は3町合併に際し、全国に先駆けて地域自治区制度を導入しました。

地方自治法では地域自治区ごとに地域協議会を設置して首長が住民の多様な意見を適切に反映するように配慮することになっています。

そのため、地域協議会を香住、村岡、小代の各区ごとに設置。協議会はそれぞれ区内の各種団体や有識者、公募で選出された15人以内で構成しました。

地域協議会は、まちづくり計画や基本構想、各種の振興計画などの重要な計画の策定や変更といった町長から諮問された事柄について審議して意見を述べることができます。

また、それぞれの区におけるまちづくりの方向について進んで検討し、町長に提言もしていくことにしております。

各区の地域協議会が　動き出す

●小代区地域協議会

7月29日に第1回の会合が開かれ、会長に同区自治会長の井上一郎さん（同区実山）、副会長に同区婦人会長の水間徳子さん（同区鍛治屋）が選ばれました。

会議の中では、美方町時代から続いていた観光振興や尼崎市や大阪府忠岡町との交流、畜産業の振興、耕作地放棄や有害鳥獣問題、高齢化対策などの意見交換が行われました。

●村岡区地域協議会

8月2日に第1回の会合が開かれ、会長に同区自治会長の西田英雄さん（同区耀山）、副会長に同区婦人会長の南垣久美子さん（同区鹿田）が選ばれました。

会議の中では、地産地消や自然環境、過疎計画などの人口問題などの意見交換が行われました。

●香住区地域協議会

7月下旬に公募委員の抽選を行い、委員構成が決定しました。

8月中に第1回の会合を開く予定です。



8月2日開催の村岡区地域協議会



7月29日開催の小代区地域協議会

【若者まちづくり懇話会】

新しいまちづくりに　若者の声

「合併で新しく発足した町だから、新しい町を担う若い人たちにまちづくりに参画してほしい」

町では、新町の施策に若者の意見を取り入れようと、若者まちづくり懇話会を設置しました。

この会は、ほかの委員会のように町長からの諮問に対して協議を重ね、正式な答申を提出するような会ではなく、若い人たちのまちづくりに対する意見交換を通して、町に随時提言を行っていくという形式をとっています。

そのため、中長期的な視点に立った意見を求めていき、香美町の将来像を描くための参考にしよう、という観点から設置をしました。

【行財政改革検討委員会】

厳しい状況を乗り切るために

香美町を取りまく行財政環境は大変厳しい状況にあります。

そこで、単に経費の削減を図るだけでなく、旧町間の制度の格差是正や、新しいまちづくりに向かって少子高齢化対策や観光をはじめとする町内産業の振興対策などを図っていくため、行財政全般にわたって検討していく必要があります。

このため、町内の有識者で構成する行財政改革検討委員会を設置して検討していただくこととしました。



中間報告は来年度予算に反映

7月28日、行財政改革検討委員会の第1回会合が開かれ、会長に柴崎一秀さん（香住区森）、副会長に田丸明人さん（村岡区大笹）、中村治泰さん（小代区水間）が選出されました。

委員会は今後、月2回程度の予定で開催され、健全な財政運営を確立させるため、行政各般にわたり改革の必要な分野について調査・審議し、その結果をとりまとめ、来年秋を目途に町長に答申する予定です。

それに先だって、今年11月ごろに中間報告を町長へ提出、町ではその報告を来年度の当初予算に反映させることにしています。



第1回会合で柴崎会長に町長から諮問書が手渡されました

【医療体制検討委員会】

医療経営の見直しを視野に入れた議論

合併により香美町は公立の2病院と5診療所を抱えることになりました。

合併前からこれらの病院・診療所は地域医療に大きな役割を果たしてきました。

しかし、現在、本町は少子・高齢化による人口構成の変化や疾病構造の変化が進む一方で、道路整備により他市町への交通アクセスが改善され、近隣の大病院への通院がしやすくなってきました。

それによって、町内の患者離れが進んできています。

さらに、現在、町内の公立病院・診療所のほとんどが赤字経営となっていて、それに伴う町の一般財源の投入がほかの事業へ少なからず影響を与えています。

また、医療制度の改正や医師確保の困難さが、患者離れを進めるという悪循環に陥っています。

町では、これらの状況を踏まえ、今後のあり方を総合的に検討していくため、医療体制検討委員会を設置し、8月3日に第1回の会合を開きました。



身近な問題だけに熱心に検討される各委員

利用者の率直な意見を

委員会は、利用者の立場からの意見を聞くための老人クラブや婦人会、PTA、区長会など住民代表の委員のほか、専門的な立場から医師会や医療経営コンサルタントの方にも検討に加わっていただいています。

第1回会合では、会長・副会長の選出が行われ、会長に駒居博之さん（香住区一日市）、副会長に石垣健三さん（村岡区高津）が選出されました。

委員会は、年内に医療体制の方向をまとめる予定にしています。

自由な意見の中から施策に反映できるものを

懇話会の委員は、各区の商工会青年部や青年会議所、水産加工業や畜産業の関係者で構成され、30代から40代の計21人で構成されていますが、今後、増員も検討しています。

7月14日に第1回の会合が開かれ、座長に木谷高さん（村岡区村岡）、副座長に中村善則さん（香住区香住）、毛戸公彦さん（小代区神水）が選ばれました。

今後は、月2回程度会議を開き、産業振興、生活基盤、保健福祉、教育文化などの分野について意見交換を行い、会議で出された意見の中で来年度の予算に反映できるものがあれば、積極的に取り入れていくことにしています。



若者の知恵と力でよりよいまちづくりを

※各委員会の協議状況や中間報告・答申などは、随時掲載していく予定にしています。

農地などについてのご相談はお気軽に農業委員へ

香美町農業委員会の体制決まる

香美町農業委員会の初総会が6月21日に開催され、会長に吉川邦夫さん（香住区下浜）、会長職務代理者に中村幹弘さん（村岡区長板）が選出されました。また、農地部会（任意の部会）、農整部会、情報部会の委員構成も決定し、香美町農業委員会の活動が始まっています。

農業委員は、「農地の番人」としてだけではなく、農業者の日常生活の世話役として、また、かけがえのない農地とその担い手を守り育てていくためのリーダー役としての活躍が期待されています。

農業関係の知識や制度などは、複雑で多岐にわたります。分からないこと、不安なことなどがあるときは、地区担当委員へ気軽に声をかけてください。

地区担当委員は、下の表のとおりです。（順不同、敬称略）

農業委員会についてのお問い合わせは、産業部農林課内の香美町農業委員会事務局（村岡庁舎）☎０７９６・94・０３２１まで。



6月21日、第1回農業委員会委員終了後に村岡地域局前で
（下の段から）
1列目左から穴田委員、高橋委員、中村（幹）会長職務代理者、吉川会長、池口委員、川本委員
2列目左から中村（博）委員、安田委員、山本委員、森委員、西田委員
3列目左から常榮委員、井上委員、天良委員、稲垣委員、津田委員、藤原委員
4列目左から毛戸委員、小林委員、山森委員、北脇委員、山盛委員、今西委員
※田野委員、中村（能）委員は欠席

■農業委員名簿と担当区域■

委員氏名（住所）	担当行政区	選出区分
稲垣　登也（香・七日市）	西香住、七日市、駅前	選挙
吉川　邦夫（香・下浜）	油良、矢田、下浜	選挙
安田　裕至（香・下岡）	九斗、米地、丹生地、西下岡、下岡、上岡、隼人	選挙
山盛　高光（香・三川）	畑、大梶、三川、土生、本見塚	選挙
常榮　昭　（香・無南垣）	相谷、奥安木、浜安木、訓谷、無南垣、浦上、上計、沖浦	選挙
山森　昭夫（香・守柄）	森、間室、守柄、加鹿野	選挙
高橋　勤　（香・小原）	三谷、大谷（香住区）、大野（香住区）、小原	選挙
川本源太夫（香・余部）	市午、梶原、浜、西、御崎、鎧	選挙
池口　重雄（村・村岡）	水上、川上、中西、新町、西本町、用野、鹿田	選挙
穴田　皓一（村・板仕野）	相田、神坂、萩山、板仕野	選挙
中村　博　（村・市原）	大糠、光陽、高井、寺河内、耀山、市原	選挙
山本　弘毅（村・口大谷）	八井谷、大野（村岡区）、口大谷、中大谷、大笹	選挙
森　　隆　（村・森脇）	福岡、高坂、池ヶ平、和池、森脇	選挙
西田　英喜（村・日影）	黒田、宿、日影、作山	選挙
中村　幹弘（村・長板）	入江、和佐父、和田、長板、川会	選挙
井上　毅　（村・熊波）	熊波、相岡、丸味、高津	選挙
天良　敬次（村・味取）	長須、味取、原、長瀬、山田、小城、境（村岡区）	選挙
今西　博一（小・茅野）	野間谷、実山、平野、茅野、忠宮	選挙
毛戸　誠　（小・神水）	久須部、大谷（小代区）、城山	選挙
藤原　敏和（小・神水）	神場、広井、水間、神水、石寺、猪之谷	選挙
田野　眞吉（小・新屋）	新屋、秋岡、熱田	農協推薦
津田　成彬（香・香住）	境（香住区）、一日市、若松、香住	議会推薦
北脇タカ子（香・八原）	中野、藤、八原	議会推薦
小林　洋子（村・神坂）	東上、東中、本町、野々上、殿町	議会推薦
中村　能章（小・鍛治屋）	東垣、佐坊、鍛治屋、貫田	議会推薦

香美町（香住海岸）が「日本の夕陽百選」に認定

7月29日、本町がNPO法人日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会（二木賢治理事長）に認定申請していた「日本の夕陽百選の地域」に香住海岸が認定されました。

香住海岸に沈む夕陽の美しさは、以前から絶景といわれていましたが、今回の認定により名実ともに香美町を代表する景観の一つとなりました。



日本海に沈む美しい夕陽（ファミリーイン今子浦から撮影）

山陰海岸国立公園の中心部に位置する香住海岸は、海岸沿いの奇岩などが有名ですが、特に今子浦（香住区境）、岡見公園（同区一日市）、余部埼灯台（同区余部）付近では、夕陽の美しさが訪れる人々を魅了してきました。

町では、NPO法人日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会の現地調査を受けて、7月上旬に日本の夕陽百選の地域指定を申請していましたが、7月29日に正式に認定を受けました。

これに先立ち、7月7日には、国民宿舎ファミリーイン今子浦（香住区境）が同協会から「日本の夕陽の宿百選」に認定されています。

町では、今回の認定を受けて、より一層夕陽を町内外にPRするため、今後、今子浦や岡見公園、余部埼灯台の周辺に案内看板を設置するほか、町のホームページなどで積極的に紹介していくことにしています。

●問い合わせ先
役場産業部観光課
☎0796・36・1111

食べて、見て、山陰海岸の魅力を楽しもう 参加者募集



国の天然記念物　鎧の袖

兵庫県では、山陰海岸国立公園のすばらしさを学ぶ山陰海岸魅力体験ツアーの参加者を次のとおり募集します。

●とき　9月10日（土）
①午前11時～午後1時
三田浜（香住区下浜）での地引き網、昼食（海鮮バーベキュー）
②午後1時30分～2時30分
国民宿舎ファミリーイン今子浦で、山陰海岸研究の第一人者谷本勇氏（浜坂町在住）による講演
③午後2時40分～3時40分
香住海岸遊覧（香住漁港東港～鎧の袖～松ヶ鼻一周コース）
※天候により一部日程変更の場合あり。
※場所の移動は各自でお願いします。
●参加料（当日支払い）
①～③参加…1,000円、②③参加…500円、②のみ参加…無料
●募集人数　120人（予定）
●問い合わせ（申し込み）先
但馬県民局商工労政課
☎0796・26・3686

こんにちは　町長です

感動!!　海上花火大会

天空鮮やかに開く大輪の花、広い海面いっぱいにシャワーのように流れ落ちる花火、今夏の香住ふるさとまつりのメインイベント「海上花火大会」は天候にも恵まれ、今までにない感動の連続でした。

香美町が発足して最初の大きなイベントとなったこの花火大会、会場も埋立地が整備できゆったりとした中で、村岡区や小代区からもバスで多くの皆さんに来ていただき、また、香住道路の開通で豊岡方面からも車々の列、尺玉やスターマイン2800発の勇壮な大絵巻に酔いしびれたひとときでした。

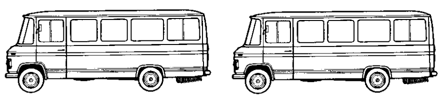
新しいまち「香美町」の夏は、この「香住ふるさと祭り」や「ふるさと小代夏祭り」「村岡ふる里祭り」といった各区単位のまつりのほか、「矢田川まつり」「佐津川七夕まつり」など、各地域で住民手づくりの多くのイベントが盛大に行われています。

豊かな自然や多彩な歴史・文化をもつ香美町。私たちはこうした「まつり」を通して、新しいまちづくりに一層努めていきたいものです。

香美町長　藤原久嗣

交流バス「香美町民号」をご利用ください！

バスを利用した各種団体などの自主的な視察・研修などの活動や旧3町間の団体交流を通して、早期の一体感の醸成を図ることを目的として、当面の間、香美町所有のマイクロバスの運行予定が無いときにバスを利用できる交流バス制度を創設しました。



●利用条件
・概ね15名以上の町内の団体やグループ
・町内の施設などを2カ所以上見学
・町内が運行範囲
●利用料　無料
●問い合わせ先
役場総務部企画課
☎0796・36・1111
村岡地域局地域振興課
☎0796・94・0321
小代地域局地域振興課
☎0796・97・3111

10月から介護保険制度が改正
施設サービスの居住費や食費が利用者の負担に

介護保険施設（ショートステイ含む）などを利用されている方は居住費（光熱水費など）、食費が全額自己負担となります。（低所得者の方は負担軽減の制度がありますので、各対象者にご案内いたします）

制度改正の概要は9月号広報でお知らせします。

※デイサービス、デイケア（通所リハビリ）をご利用の方は負担軽減の対象にはなりません。

●問い合わせ先
役場健康福祉部福祉課介護保険係
☎0796・36・4345

青少年の健全育成のために
香美町青少年育成対策指針を決定

7月16日、香美町文化会館で香美町青少年問題協議会が開催され、平成17年度香美町青少年育成対策指針が決定されました。

今後、この指針の実践項目を基に各学校・PTA・団体・関係機関・自治組織などと協力し、青少年の健全育成活動を推進します。

◆平成17年度香美町青少年育成対策指針◆
・家庭のあり方を見つめ直そう～子どもの自主を促すタイミングのよい援助、過不足のない援助～
・こころを育てる場としての学校を見直そう～心身のたくましい子どもを育てるために～
・地域の連携を深めふるさと教育を推進しよう～ふるさとに愛着と誇りをもつ青少年を育てるために～
・福祉教育を推進しよう～自立と思いやりの心を育てるために～
・地域ぐるみで健やかな子どもを育てるよい環境をつくりあげよう～健やかな育成を阻害するおそれのある行為から青少年を保護するために～

◆平成17年度暮らしの実践スローガン◆
おとなが手本を示そう。“おとなが変われば子どもも変わる”
・親子の会話を大切にしよう。
・家庭・学校・地域であいさつの輪を広げよう。
・子どものよいところは誉めよう、悪いことは注意しよう。



朝のラジオ体操は年代を超えて地域の人たちが気軽に集まれる場所です



7月30日～8月1日に行われた香住区の少年少女球技大会 炎天下でも元気いっぱいにプレーしていました

「人権」に関するポスター・標語・作文作品募集

香美町では、8月と9月を「人権文化をすすめる町民運動」月間とし、差別のない明るく住みよいまちを目指し、さまざまな取り組みを行っています。

その一つとして、人権に関する作品を募集します。

▼募集対象者
町内小・中・高校の児童・生徒、同PTA会員、一般町民
▼募集作品
①人権に関するポスター（四つ切り画用紙）
②人権標語（所定の用紙）
③人権作文（400字詰原稿用紙3枚程度）
▼応募期限
香住・村岡区　10月11日（火）
小代区　9月1日（木）
▼選考・表彰
各地域自治区ごとに設けた審査委員会で選考し、入賞作品を表彰
▼問い合わせ先
役場健康福祉部人権推進室
☎0796・36・1111
村岡地域局健康福祉課
☎0796・94・0321
小代地域局健康福祉課
☎0796・97・3111

良い作物づくりは良い土づくりから
牛ふん堆肥で土づくりをしましょう！

堆肥による土づくりは、毎年投入し続けることで肥料の効き目が変わり、全体的に肥料を減らしていくことができます。

同じように施肥などの管理をしていても、堆肥を定期的に投入していたほ場では、干ばつの被害が軽減されたという結果も出ています。

さらに、堆肥によって土ができてくると、保肥力、保水力が高まります。地力が高まることで、異常な気象に左右されにくく、作物が安定して成長します。

秋や早春は土づくりに最適な時期です。作付けの1カ月前に町内産の牛ふん堆肥を使用して、力強い土づくりを行い、安心でおいしい農作物の生産に取り組んでみませんか。

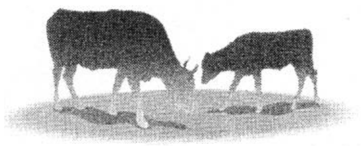
香美町では村岡有機センターと小代堆肥センターの2つのセンターで牛ふん堆肥の販売から散布まで行っています。

●堆肥の使用量
（10アール当たりの目安）

【水稲】
基本的に秋に使用し、1・5トンをよくすきこみましょう。春に使用する場合には、田植えの1カ月前までに使用し、すぐすきこみましょう

【家庭菜園】
2トンが目安です。元肥を基準どおり使用し、その後の生育で追肥を調整していきましょう。

詳しい堆肥の使用方法については浜坂農業改良普及センター（☎0796・82・1161）にお問い合わせください。



【堆肥の注文など】
村岡有機センター
☎0796・94・0096
小代堆肥センター
☎090・1957・9916
役場産業部農林課
☎0796・94・0321
小代地域局産業建設課
☎0796・97・3111

乳幼児の健康講座始めます

公立香住総合病院では、8月から12月まで毎月1回、乳幼児の健康講座を開催します。

発熱やぜんそく発作のときの処置、日常生活での心がけなどを約30分程度お話ししたあと、日ごろの疑問や悩みにお答えします。（申し込み不要）

参加者からの質問に小児科医師がお答えする形式で行い、小学生の相談も受け付けます。

▼講座の日時
毎月第4木曜、午後1時～2時
8月は25日（木）に開催
▼会　場
公立香住総合病院2階会議室
▼問い合わせ先
公立香住総合病院
☎0796・36・1166

海の文化館に「貝殻コーナー」

香美町海の文化館では、香住区香住出身の故・小川仁之助さんが生前収集された香住の海で捕れる貝の「貝殻コーナー」を設置しています。

みなさんのなじみの深いものから珍しいものまで数多く展示しています。

この機会にぜひご来館ください。



●問い合わせ先
香美町海の文化館
☎0796・36・4671

町職員人事異動（8月1日付）

【部長級】
理事（医療体制検討担当）
兼公立香住総合病院事務局長
亀村　庄二
（公立香住総合病院事務局長）

香美町消防団香住支団 本部体制変更（カッコ内は旧職）

【新体制】（8月1日付）
副団長兼支団長
青山喜一（副団長兼副支団長）
副団長兼副支団長
石田俊一（本部分団長）
佐藤尚武（本部分団長）
西内一博（本部分団長）
【退団】（5月31日付）
中村　昭（副団長兼副支団長）
（7月31日付）
川端敏彦（副団長兼支団長）
小谷好男（副団長兼副支団長）

2005 国勢調査

10月1日（土）

～5年に1度の大切な調査です～

今年は5年に1度の国勢調査の年です。10月1日現在、普段住んでいる場所で、調査が行われます。

国勢調査は未来の羅針盤として、私たちの生活に活かされます。



総務省・兵庫県・香美町

Town News
まちの話題

美しい矢田川をいつまでも
第15回矢田川まつり

7月23日、道の駅あゆの里矢田川（村岡区長瀬）で、第15回矢田川まつりが開催されました。

このまつりは、矢田川の自然環境について考え、清流をいつまでも残していこうと平成3年から始まりました。

合併前は、旧3町が毎年、持ち回りで会場を提供し取り組みを行っていました。

まつりでは、矢田川の環境をテーマにした作文の表彰が行われ、受賞者の北村香奈さん（射添小6年）と柴田成基くん（長井小6年）がそれぞれ川の環境を守ることの大切さや、川と森林の関わりについての発表を行いました。

アマゴのつかみどりでは地元の子どもたちだけでなく、町外の家族連れなども参加。冷たい水と逃げ回るアマゴに歓声をあげていました。

ほかにも、アユ釣りやニジマス釣り大会、アユの塩焼きの販売やカヌー乗りの体験などが行われ、清流・矢田川の魅力を堪能されていました。


アマゴのつかみ取り大会では
大きな歓声があがっていました


大物を狙って　ニジマス釣り大会

白熱のたらいこぎ大会に歓声
第28回香住ふるさとまつり

7月23日、24日の両日、香住浜一帯で「第28回香住ふるさとまつり」が開催されました。

23日の夜は、県下4大花火大会の一つに数えられる海上花火大会が行われ、真夏の夜空に色とりどりの花火が打ち上げられ、訪れた人々を魅了していました。

翌24日は、香住浜海水浴場（香住区七日市）で「うみのひろば」が開催されました。

ＰＴＡの方々を中心に子どもたちが楽しめるアトラクションをそろえた「こどもひろば」や、各地から出店者を募ったフリーマーケットなどが軒を連ねました。

中でも、「たらいこぎ大会」は、地元のグループを中心に、計44チームが参加。

6人1チームで、大きなたらいに2人1組が乗り込んで海上のブイを回り、次の選手にバトンタッチする競技で、毎年、熱戦が繰り広げられています。

呼吸が合わずにその場で回転したり、バランスを崩して転覆するたらいも続出。見物客や応援団からは、声援や笑い声があふれていました。


力を合わせてオールを漕ぐ選手たち


小さな子ども楽しめるこどもひろば

大名行列から三輪車レースまで　村岡ふる里祭り

8月6日、村岡商店街で「村岡ふる里祭り」が開催されました。

歩行者天国になった商店街では、村岡中学校のブラスバンドや村岡小学校の金管バンドの演奏が祭りに花を添えたほか、江戸時代の衣装を身にまとった「山名子ども大名行列」が元気一杯に練り歩きました。

祭りのメインイベントである「第3回爆笑S1グランプリ　三輪車大会」には、15チームが出場しました。選手の皆さんは、地上からハンドルまで60センチの三輪車にまたがり、全長約400メートルの特設コースで好レースを展開。中には勢い余って車輪が外れるハプニングも。沿道から見守るたくさんの観客からは、応援と同時に笑い声が起こっていました。ほかにもロックバンドの演奏やカラオケ大会、もちまき大会などたくさんの楽しいイベントが行われ、会場は夜になっても熱気で満ちあふれていました。



商店街を練り歩く子ども大名行列



小さな三輪車に悪戦苦闘

鉄橋下で夏の夜のひととき　余部鉄橋夕涼みまつり

8月6日、香住区余部で「余部鉄橋夕涼みまつり」が開催されました。

このまつりは、JR山陰本線余部鉄橋が架け替えられるまで間実施する余部鉄橋メモリアル事業の一つで、今年初めて開催されました。同事業実行委員会（山本美津男委員長）が中心となって、地元の有志や団体が協力して行った手づくりのイベントです。

コンサートや芸能発表、のど自慢大会、余部鉄橋・地元に関する○×クイズ大会のほか、会場内には夜店も出店され、訪れる人々が列を作っていました。

当日は、時折雨が降る天気となりましたが、地元の方々を中心に多くの方が訪れ、鉄橋下の会場でにぎやかな時間を過ごされました。



にぎやかなステージイベント



余部に関する○×クイズに挑戦

真夏のにぎわい　ふるさと小代夏祭り

7月30日、小代区大谷のゴンドラステーション駐車場を会場に「第28回ふるさと小代夏祭り」が開催されました。

美方町商工会が中心となって、昨年までは「ふるさと美方夏祭り」として大谷商店街を会場に行っていましたが、合併初年度の今年は名称を変更。それにあわせて会場もゴンドラ駐車場に変更になりました。

当日は、ヒーローショーなどの効果か、親子連れや子どもたちがこれまで以上に来場、婦人会や保育所園児によるよさこい踊りも会場を盛り上げました。



子どもたちの元気なよさこい踊り

◆主な連絡先◆

香美町役場本庁舎	36・1111	公立香住総合病院	36・1166
〃　南庁舎	39・2053	公立村岡病院	94・0111
〃　村岡地域局	94・0321	香住地域福祉センター	36・4345
〃　小代地域局	97・3111	香住老人福祉センター	36・5008
香美町教育委員会	94・0101	村岡老人福祉センター	98・1000
〃　香住分室	36・3764	小代高齢者生活支援センター	97・2202
〃　小代分室	97・3966	（全ての施設の市外局番：0796）	

▶融資対象者
次のいずれかに該当する人
①県産木材を50％以上使用し、自ら居住するための木造住宅を新築・新築購入・増改築する人
②県内の居住する住宅に県産木材の内装材を30平方メートル以上使用してリフォームする人
▶融資限度額
①県産木材使用割合が50～60％1,500万円、60％以上2,000万円
②500万円
▶返済期間
①25年以内　②10年以内
▶取扱金融機関
融資を受けようとする金融機関にお尋ねください。融資の審査などは金融機関が行います。
▶問い合わせ先
兵庫県農林水産部林務課
☎078・341・7711
但馬県民局豊岡農林振興事務所
☎0796・26・3699

◆軍人恩給受給資格調査◆

▶対象者
旧軍人（本人死亡の場合は妻）で軍人恩給の未請求者（公務員退職などの年金受給者除く）
▶申込方法
履歴申立書（役場健康福祉部福祉課に備え付け）に住所、氏名、軍歴などを記入し、終戦当時の本籍地の都道府県援護担当課に提出してください
▶問い合わせ先
兵庫県福祉局援護室恩給係
☎078・341・7711

◆第8回特別弔慰金の支給◆

戦没者などの遺族に対して特別弔慰金が支給されます。
▶支給対象者
平成17年4月1日現在、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金などを受ける人がいない場合に、次に掲げる順番により先の順位のご遺族お一人に対して支給されます。
・戦没者などの死亡当時の遺族で、
①平成17年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人
②戦没者などの子
③戦没者などと生計関係を有していた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹（戦没者などと生計関係を有していなかった人、平成17年4月1日時点で婚姻により姓が変わっている人、遺族以外と養子縁組している人を除く）
④上記③以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹
⑤上記①～④以外の三親等内の親族（戦没者などの死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた人に限られます）
▶支給内容
額面40万円（10年償還の記名国債）
▶請求期間 平成20年3月31日まで
▶問い合わせ（請求）先
役場健康福祉部福祉課
☎0796・36・1111
村岡地域局健康福祉課
☎0796・94・0321
小代地域局健康福祉課
☎0796・97・3111

◆内閣総理大臣名の書状を贈呈◆

先の大戦で、外地など（事変地の区域や戦地の区域）に派遣され、戦時衛生勤務に服された旧日本赤十字社救護看護婦、旧陸海軍従軍看護婦の人（慰労給付金受給者除く）に対して、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。
ご本人やご家族などからのご連絡をお待ちしています。
請求期限が、2年間延長され、平成19年3月31日までとなりました。
▶請求用紙
役場健康福祉部福祉課の窓口に用意しています
▶問い合わせ先
総務省大臣官房管理室業務担当
☎03・5253・5182

求人情報

ハローワーク香住（職業安定所）
☎0796・36・0137
（平成17年6月21日～7月20日・順不同）

事業所名	職　種	年齢	人数
但馬ディーゼル㈲	機械整備工員（見習可）	不問	1
〃	一般事務	不問	1
㈲三七十	調理師見習	不問	1
㈱蔵平水産	製造包装員	18～50	2
㈲かどや	ダイビングショップ・旅館接客	18～35	2
㈲さだ助	接客	20～35	2
㈱西山工務店	現場監督	22～45	2
宮崎水道設備	給排水衛生設備配管工	不問	1
清水工業㈲	土木現場監督	不問	1
マルカツ水産㈱	工場管理者	30以下	1
〃	水産加工	不問	1
村岡日石㈱	販売員	不問	1
㈱田中工務店	土木施工管理技士	不問	1
〃	オペレータ	不問	1
㈲中村建工	営業	25～50	1
㈱田野工務店	営業	不問	1
▼パート			
㈲三七十	雑役	不問	1
㈱丸近	一般作業員	不問	4
㈱蔵平水産	製造包装員	20～50	2
㈲かどや	旅館・食事処接客	18～55	2
本家かまどや香住店	弁当販売	不問	3
㈱トヨダ	販売	20～58	2
㈱入江産業	部品検査・軽作業	20～45	1
村岡日石㈱	給油スタッフ	不問	2

円山川公苑美術館企画展
国際アンデルセン賞画家受賞作家
「アンソニー・ブラウン絵本原画展」



▶会期　9月11日（日）まで
▶開館時間
午前9時～午後5時、月曜日休
▶観覧料
大人350円、子ども150円
▶問い合わせ先
兵庫県立円山川公苑
☎0796・28・3085

けいじばん

募　集

◆公立八鹿病院組合職員◆

▶募集職種・人数
・看護師（保健師・助産師含む）
…20人程度
・診療放射線技師…1人
・作業療法士…1人
・介護職員（臨時職員）…2人程度

▶受験資格
・看護師（保健師・助産師含む）
昭和46年4月2日以降に生まれた人で、免許取得者（見込み含む）
・診療放射線技師・作業療法士
昭和51年4月2日以降に生まれた人で、免許取得者（見込み含む）
・介護職員（臨時職員）
50歳までの人

▶採用予定日　平成18年4月1日
（卒業・修了・免許取得見込みの人は、卒業・修了・免許取得が採用条件）

▶応募締切　8月31日（水）必着

▶試験日　9月17日（土）
（2次試験は10月上旬～中旬）

▶試験方法
1次試験　教養試験、作文
（介護職員は作文のみ）
2次試験　面接（1次試験合格者）

※10月中旬以降に本人に結果発表

▶問い合わせ（応募）先
公立八鹿病院組合総務課
☎079・662・5555

開　催

◆年金相談所◆

年金の疑問や不安について、兵庫社会保険事務局豊岡事務所の職員がお答えします。

相談には、年金手帳などの基礎年金番号の分かるものをご持参ください。保険料の徴収も行います。

▶と　き
8月30日（火）午前10時～午後3時

▶ところ　香住区中央公民館

※村岡区は10月、小代区は3月に開設予定

▶問い合わせ先
兵庫社会保険事務局豊岡事務所
☎0796・22・3196
役場健康福祉部町民課
☎0796・36・1111

◆下水道排水設備工事責任技術者試験◆

▶試験日　11月23日（水・祝）
▶試験時間午後1時30分～3時30分
▶試験会場　流通科学大学（神戸市）
▶申込期間　9月5日（月）～16日（金）
▶問い合わせ（申し込み）先
役場建設部下水道課
☎0796・39・2053

◆平成17年度暴力追放・交通安全美方郡住民大会◆

この大会は、美方郡を暴力や交通事故のない明るく住みよい町にするため、毎年美方郡内の各町で開催されるもので、今年は村岡区で開催されます。ぜひご参加ください。

▶と　き 8月24日（水）午後1時～
▶ところ
村岡中学校体育館、屋外運動場
▶内　容（予定）
・防犯功労者などの表彰
・少年少女音楽隊による演奏
・小中学生による暴力追放・交通安全意見発表
・兵庫県警察音楽隊による舞台演奏と運動場でのドリル演奏（雨天中止）
・パトカー・白バイの展示　など
▶問い合わせ先
村岡地域局健康福祉課
☎0796・94・0321

◆第55回全但高等学校音楽連盟合同発表会◆

但馬地区の高等学校の吹奏楽、合唱、箏曲が一堂に会した発表会を行います。

▶と　き　9月17日（土）正午～
▶ところ　豊岡市民会館
▶入場料　無料
▶問い合わせ先
県立豊岡総合高等学校
☎0796・22・7177

◆村岡高等学校第9回合同芸術祭◆

▶と　き
8月28日（日）午後1時30分開演
▶ところ　村岡老人福祉センター
▶入場料　無料
▶内　容
・村岡高等学校・村岡中学校吹奏楽部演奏会
・文化部展示・発表
・養父市「雅聚会」の雅楽演奏
▶問い合わせ先
県立村岡高等学校
☎0796・94・0201

◆司法書士によるサラ金などの多重債務、ヤミ金被害無料相談◆

▶と　き　9月17日（土）
午後1時～4時（予約制）
▶ところ　豊岡市民会館
▶問い合わせ（予約）先
兵庫県司法書士会但馬支部
☎079・665・8025

◆住宅金融公庫　返済相談◆

マイホーム新築資金などの融資を受けた人で、収入減などで返済が困難になった場合の返済方法変更などの相談を実施しています。

返済に不安を感じる人は、お早めにご相談ください。

▶相談日
・毎週月・火・木・金曜日
午前9時～午後7時30分
・毎週水・土曜日
午前9時～午後5時
▶問い合わせ先
住宅金融公庫大阪支店返済相談室
☎06・6281・9284

◆兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度◆

そのほか

の製材工場で加工された木製品）を利用して住宅を建築・リフォームされる人に、県と金融機関が協力して資金を融資します。

香美 名所巡り

けびおおいけこうえん
相大池公園



緑の中に水をたたえる相大池



キャンプも楽しめるバンガロー村



　氷ノ山・後山・那岐山国定公園の一角、村岡区の北西部、標高600メートルの位置に相大池公園はあります。

　公園内には広さ約3ヘクタールの相大池があり、中国山地の雄大な山並みを眺望できる高原が広がっています。春は新緑、夏は紺碧の青空、秋は紅葉、冬は純白の冬景色と満々と水をたたえる大池の湖面に写し出される四季折々の美しさは訪れる人を魅了します。

　また、アメリカンフットボールもできる大グラウンド、テニスコート3面、間伐材を利用したフィールドアスレチックコース、大池周遊サイクリングコース、野外炊飯場、日本海を眺望できる展望台、キャンピングカーなら20台収容可能なオートキャンプ場、ダイニングキッチン・和室・シャワー・トイレなどを完備したバンガロー棟、食事や休憩のできる山荘などバラエティーに富んだ施設があります。

　この公園は、過疎化と高齢化に悩む地元の青年たちが、昭和56年に村おこしグループ「あけぼの会」を結成して以来、自然環境を活かした公園づくりに努めてきました。大規模に開発するのではなく、心安らぐ農村の自然環境を守りながら、現在も公園を中心とした地域振興に努めています。

まちのうごき
（平成17年7月1日現在）

合　計	22,679人	（−42）
男	10,825人	（−21）
女	11,854人	（−21）
世帯数	6,964世帯	（−　4）

カッコ内は前月比

═編集後記「日々雑感」═

先日、イベントの写真を撮ろうと海へ出かけました。

　鮮やかな青空、エメラルドグリーンの海、焼けるような砂浜、はじける水しぶき、色とりどりの水着、はしゃぎまわる子どもたちのにぎやかな声。

「ああ、夏の風景だなぁ」などとつぶやきながら、スラックスにワイシャツ、革靴でたたずむ男が一人。デジカメを首から下げて、そんな格好で砂浜を歩いている私。

　イベントの取材ということで何とか言い訳もできますが、本当に一人でそんなところにいると、絶対に「変な人」と思われるでしょう。

　そんな出で立ちだから、立ってるだけで汗がタラリ。撮影のために動き回ると一気に汗がダラリ。撮影が終わるころには背中に見事な世界地図が。

「クールビズ」だの「エコスタイル」だの「ノー上着、ノーネクタイ」だのといっても、やっぱり夏の太陽には勝てませんでした。

（タク）

PRINTED WITH SOY INK　R100
この広報誌は、自然環境を考えてソイ（大豆油）インキ、再生紙100%を使用しています。

ふるさと香美（第5号）　平成17年8月11日発行
■発行/兵庫県香美町■企画編集/総務部企画課

〒669-6592　兵庫県美方郡香美町香住区香住1595の3
tel　0796・36・1111　fax　0796・36・3809
電子メール　info@town.mikata-kami.lg.jp
ホームページ　http://www.town.mikata-kami.lg.jp